

「貧血」の簡易検査を実施しています

以前は、乳児の鉄欠乏性貧血は 10 人に 1 人（約 10%）ぐらいの割合で見られると言われていましたが、最近では 4 人に 1 人（約 25%）が鉄欠乏性貧血にあるとされています。その原因の 1 つに、「離乳食が進んでいない」ことが挙げられています。特に母乳栄養児では、母乳の中の「鉄」が少ないことから鉄欠乏性貧血になりやすいと言えます。また「離乳食を食べている」というだけでも安心できません。お米や野菜ばかりではなく、鉄分の多いお肉やお魚なども積極的に食べる必要があります。貧血になると、身体の発育だけでなく発達や集中力などの精神面への影響もあるとされていますので、この時期の貧血には注意が必要です。

当院では、乳児期の鉄欠乏性貧血を早期に見つけて、離乳食の相談や不足している鉄剤を投与するなど積極的に取り組んでいます。色が白い、離乳食が進まない、母乳ばかりを飲んでいる、といった場合で貧血がご心配な方はご相談ください。

また、本日の健診中に無料で簡易血液検査を受けていただくことも可能ですので、ご希望の方はお申し出ください。指先から血液を 2～3 滴採取するだけです痛みも強くありません。結果は健診中にわかりますので、ご説明の上、対応させていただきます。

松下こどもクリニック